

天才女優と

愛の調教日誌



僕が清掃員のバイトで働く学園には
天才女優として人気が出始めた彼女がいた。

ある番組で彼女を見て以来、僕は彼女の魅力に
取りつかれ、この学園で働く事にしたのだ。



清掃いつも
ご苦労様です

あつ…、うっ
うん…


みんなが僕を空気の様に扱うのに、彼女だけは
こんな僕にも優しく接してくれた…



だから僕はあかねちゃんに眠ってもらい
何もない僕の部屋に招待した。

彼女は目が覚めたら驚くだろうけど、きっと僕の
真剣な想いを伝えたら受け入れてくれるに違いない…





よし…、これで
いいかな…

窮屈だけど
暫く我慢してね

目が覚める前に
ちよつとだけ…

や、柔らかい…
うっ…勃起しちゃった…

きゃん


ぐくっ…
この下は…

す、少し見るだけ
ならいいよね…

こ、これが…
おま〇っ…

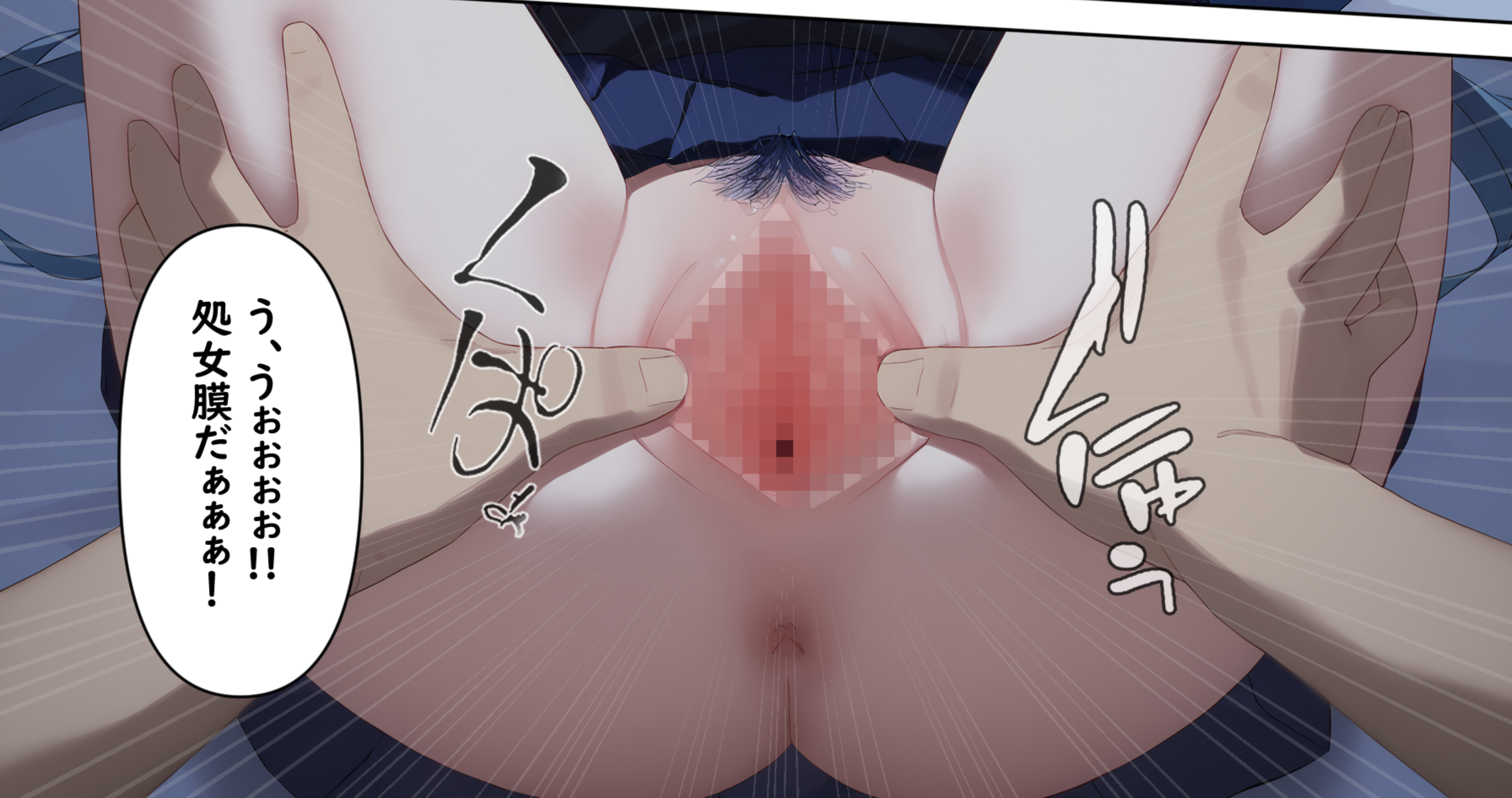
僕が初めて見た
男なのかな…

す
す



す、すごい...
これがあかねちゃんの...

そうだ、処女が確かめ
ておかないと...



う、うおおお!!
処女膜だあああ!

今は目の前にある彼女の痴態に、獣の様な情欲が湧き上がった、なんとか沈めた。

彼女とするのは、きちんと自分の気持ちを伝えてからだ。僕は冷静になると、記念におま〇こを念入りに撮影した。





ん…



!!



な、なに!!
どうなってるの!!



おーい、あかねちゃん
起きて、朝だよ…

起きないな…
折角新しい下着を
着せてあげたのに…

今日から僕達
一緒に暮らすんだよ
よろしくね

え...?
あなた誰...?

僕は君を愛する男だよ
ちよつと強引だったけど
僕の想いを受け取って

嫌っ!変態!
これ外して!!

か<ん

心配しないで
痛くはしないから

嫌…、だ、誰か
助けてえ…

むしろ気持ち良く
してあげるよ

さあ、あかねちゃんの
おっぱいとご対面♡

嫌あ、やめてええ!!
アクア君助けてええ!!